

9月号



吾孺二中 ニュースレター

A to Z

墨田区立吾孺第二中学校

令和7年9月8日

自分の「やりきる力」を育てる

校長 佐藤 順一

長かった夏休みが終わり、校内に生徒の元気な声が戻ってきました。夏休みは、楽しい思い出をたくさん作れた人もいれば、思うように過ごせなかった人もいるかもしれません。宿題が思うように進まなかった、部活動に集中できなかった、そんな声も聞こえてきます。しかし、今日からまた新しいスタートを切ることができます。

前期再開に際し、私が皆さんに伝えたいことは、「何か一つのことをやりきることの大切さ」です。どんなに気が乗らないことでも、やらなければならないことを最後までやりきることに、大きな意味があります。途中でやめるのは簡単です。でも、やりきったときには「やればできた」という確かな自信が残ります。そのためには、まず「今、自分は何をやるべきか」を考えることが大切です。それは勉強かもしれませんが、部活動かもしれません。あるいは、友人との関係を見直すことかもしれません。自分の課題に気づくことは、自分を見つめる力につながります。「自分を見つめる力」とは、今の自分を正直に見つめて、

- 何ができていて、何ができていないか
- 今、自分は何をやらなければならないのか
- 今の自分にとって大切なことは何か を考える力です。



この力があると、自分の進むべき道が見えてきます。誰かに言われたからではなく、自分で「これをやろう」と決めて動けるようになります。そして、自分で決めたことだからこそ、最後までやりきる力も育ちます。夏休み前に立てた目標を思い出してください。途中で投げ出したくなったけれど、最後まで取り組めた人は、きっと達成感を味わったことでしょう。今、何かが中途半端になっている人も大丈夫です。今日からでも遅くはありません。まずは「自分が今やるべきこと」を考えてみてください。そして、それをやりきってみてください。やりきった経験は、必ず皆さんの力になります。今日から再開した学校生活で皆さん一人ひとりが「やりきった」と言える何かを見つけてくれることを、心から願っています。先生たちは、皆さんの挑戦を全力で応援します。
[吾二生に身に付けてほしい力：見つめる力、乗り越える力、つながる力、見通す力] (9/1集会より)

AWARD-WINNING 《夏休み中の活動》

○バレーボール部 墨田区シード権大会 準優勝
○吹奏楽部 東京都吹奏楽コンクール 銅賞



～ 連合陸上競技大会練習 ～



今年度の連合陸上競技大会は、9月26日（金）に夢の島競技場（江東区）で行われます。
今年度は、代表生徒のみの参加になります。

通知表〈所見欄〉の記載について（お知らせ）

日頃より、本校の教育活動にご理解・ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。さて、今年度から通知表の記載内容や回収方法を変更することとなりましたのでお知らせいたします。つきましては、下記の内容をご確認いただき、ご理解をお願い申し上げます。

<変更内容>

通知表の回収	→ 廃止 ※御家庭で保管してください。
特別の教科道徳の評価	→ 後期のみ記載
総合所見（学校から家庭へ）の欄	→ 後期のみ記載
家庭から学校への欄	→ 廃止

※総合的な学習の時間の欄は、昨年度から後期のみの記載としておりますので、今年度も継続いたします。

<変更理由>

教員が生徒と向き合う時間を確保し、生徒の学習状況や生活状況を的確に捉え、教師が指導の改善を図り、生徒指導をより充実させるため。

※夏休みおよび12月の三者面談で、生徒一人一人の学習や学校生活の様子を口頭でお伝えさせていただきます。